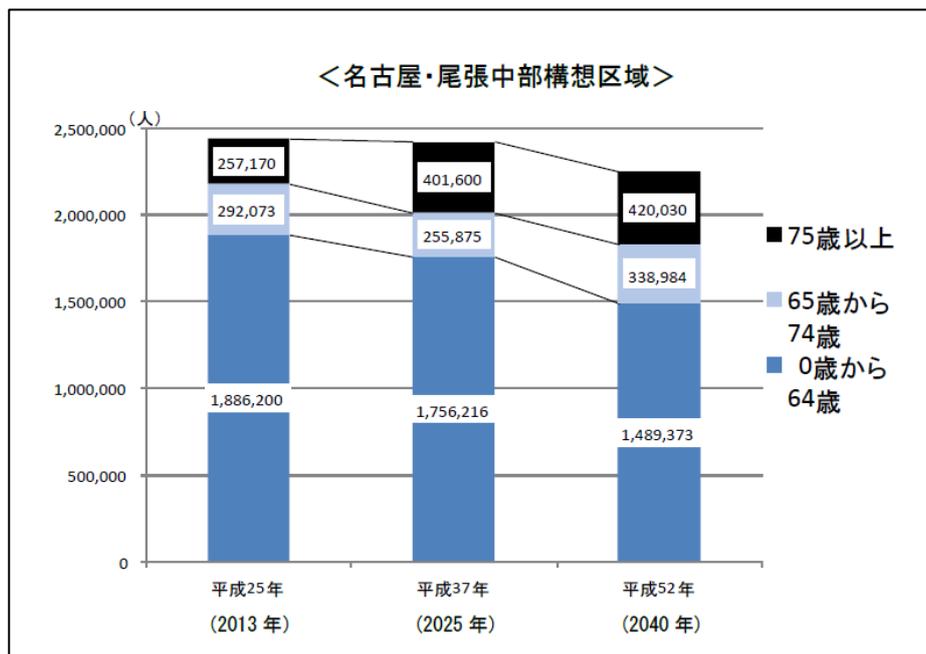


NTT西日本東海病院 2025 プラン

平成31年 1月 策定

【NTT西日本東海病院の基本情報】

- (1) 医療機関名：NTT西日本 東海病院
- (2) 開設主体：西日本電信電話株式会社
- (3) 所在地：愛知県名古屋市中区松原2-17-5
- (4) 許可病床数：150床
(病床の種別)
一般病床：150床
(病床機能別)
急性期病床：55床
地域包括ケア病床：51床
回復期リハビリ病床：44床
- (5) 稼働病床数：同上
(病床の種別)
(病床機能別)
- (6) 診療科目
内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、
リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、
整形外科、耳鼻咽喉科、放射線科、
- (7) その他：総合健診センタ
- (8) 職員数：
269名（平成31年1月1日現在）
- | | |
|------------|--------------------------------------|
| ・医師 | 75名（常勤13名、非常勤62名） |
| ・看護職員 | 98名（看護師89名、准看護師9名） |
| ・看護補助 | 22名 |
| ・薬剤師 | 7名 |
| ・臨床検査技師 | 15名 |
| ・放射線技師 | 8名 |
| ・PT、OT、ST | 18名 |
| ・その他コメディカル | 6名（ME1名、視能訓練士1名、
管理栄養士3名、社会福祉士1名） |
| ・事務職員 | 20名 |



（医療資源等の状況）

- ◆病院数が多く、また、大学病院が2病院あり、救命救急センターも6か所整備されている。

人口10万対の病院の一般病床数や医療従事者数は県平均を大きく上回っている。

- ◆DPC調査結果（DPC調査参加施設：24病院）によると、圏域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病（急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害）及び高齢者の発生頻度が高い疾患（成人肺炎・大腿骨骨折）の入院実績があり、病院数及び実績数が他圏域と比べ著しく多いことから、圏域内の急性期入院機能が充実していると考えられる。

- ◆消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病（急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷）の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられる。

- ◆高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、圏域内（18病院）において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料（ICU）・新生児特定集中治療室管理料（NICU）・総合周産期特定集中治療室管理料（MFICU）・ハイケアユニット入院医療管理料（HCU）・新生児治療回復室入院医療管理料（GCU）の届出がされている。

◆平成 25 年度(2013 年度)NDB データに基づく特定入院料の名古屋医療圏の自域依存率は高い状況にありますが、脳卒中ケアユニット入院医療管理料（SCU）については尾張東部医療圏へ患者の流出があります。尾張中部医療圏の自域依存率は 0%であり、主に名古屋医療圏及び尾張北部医療圏へ患者が流出している。

<医療資源等の状況>

区 分	愛知県①	名古屋・尾張中部②	②/①
病院数	325	137	—
人口10万対	4.4	5.6	127.8%
診療所数	5,259	2,166	—
有床診療所	408	130	—
人口10万対	5.5	5.3	97.1%
歯科診療所数	3,707	1,517	—
人口10万対	49.9	62.3	124.8%
病院病床数	67,579	25,978	—
人口10万対	908.9	1,066.7	117.4%
一般病床数	40,437	16,748	—
人口10万対	543.9	687.7	126.4%
療養病床数	13,806	4,493	—
人口10万対	185.7	184.5	99.3%
精神病床数	13,010	4,604	—
人口10万対	175.0	189.0	108.0%
有床診療所病床数	4,801	1,573	—
人口10万対	64.6	64.6	100.0%

区 分	愛知県①	名古屋・尾張中部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	6,538	—
人口10万対	197.9	268.5	135.7%
病床100床対	20.3	23.7	116.9%
医療施設従事歯科医師数	5,410	2,270	—
人口10万対	72.8	93.2	128.0%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	4,065	—
人口10万対	141.6	166.9	117.9%
病院従事看護師数	36,145	14,310	—
人口10万対	486.1	587.6	120.9%
病床100床対	49.9	51.9	104.1%
特定機能病院	4	2	—
救命救急センター数	22	6	—
面積 (km ²)	5,169.83	368.34	—

(入院患者の受療動向)

名古屋医療圏

- ◆入院患者の自域依存率は、高度急性期、急性期、回復期は 9 割程度と非常に高い水準にあり、他の 2 次医療圏や県外からの患者の流入も多くみられる。

<平成 25 年度の名古屋医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
名古屋医療圏	高度急性期	1,321	*	*	154	*	16	16	*	*	*	*	*	*	1,507
		87.7%	—	—	10.2%	—	1.1%	1.1%	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	3,735	*	16	414	10	48	16	*	*	*	*	*	*	4,239
		88.1%	—	0.4%	9.8%	0.2%	1.1%	0.4%	—	—	—	—	—	—	100.0%
	回復期	3,819	79	26	270	13	56	20	*	*	21	*	*	21	4,325
	88.3%	1.8%	0.6%	6.2%	0.3%	1.3%	0.5%	—	—	0.5%	—	—	0.5%	100.0%	
慢性期	2,191	36	119	117	12	84	46	29	*	22	*	16	71	2,743	
	79.9%	1.3%	4.3%	4.3%	0.4%	3.1%	1.7%	1.1%	—	0.8%	—	0.6%	2.6%	100.0%	

<平成 25 年度の他医療圏から名古屋医療圏への流流入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
名古屋医療圏	高度急性期	1,321	88	50	61	33	63	99	20	12	20	*	11	48	1,826
		72.3%	4.8%	2.7%	3.3%	1.8%	3.5%	5.4%	1.1%	0.7%	1.1%	—	0.6%	2.6%	100.0%
	急性期	3,735	188	123	136	65	124	213	34	26	39	*	24	141	4,848
		77.0%	3.9%	2.5%	2.8%	1.3%	2.6%	4.4%	0.7%	0.5%	0.8%	—	0.5%	2.9%	100.0%
	回復期	3,819	170	112	174	54	117	163	30	16	32	*	19	124	4,830
	79.1%	3.5%	2.3%	3.6%	1.1%	2.4%	3.4%	0.6%	0.3%	0.7%	—	0.4%	2.6%	100.0%	
慢性期	2,191	80	33	130	23	47	47	17	*	23	*	*	16	2,607	
	84.0%	3.1%	1.3%	5.0%	0.9%	1.8%	1.8%	0.7%	—	0.9%	—	—	0.6%	100.0%	

- ・厚生労働省から提供された「必要病床数等推計ツール」のデータを基に作成。
- ・レポート情報等活用の際の制約から、集計結果が 10 (人/日) 未満となる数値は公表しないこととされており、「*」と表示している。

尾張中部医療圏

- ◆入院患者の自域依存率は、高度急性期、急性期、回復期が非常に低くなっており、名古屋医療圏へ多くの患者が流出しています。また、慢性期については、名古屋医療圏から多くの患者が流入している。

<平成 25 年度の尾張中部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	
高度急性期	50	*	*	*	*	19	*	*	*	*	0	*	*	69
	72.5%	—	—	—	—	27.5%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
急性期	123	*	82	*	16	46	*	*	*	*	0	*	*	267
	46.1%	—	30.7%	—	6.0%	17.2%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
回復期	112	*	111	*	19	46	*	*	*	*	0	*	*	288
	38.9%	—	38.5%	—	6.6%	16.0%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
慢性期	33	*	104	*	*	25	*	0	0	*	0	*	*	162
	20.4%	—	64.2%	—	—	15.4%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%

＜平成 25 年度の他医療圏から尾張中部医療圏への流入入院患者の受療動向＞

(単位：上段 人／日、下段：％)

医療機関所在地	患者住所地													合計
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	
高度急性期	*	*	*	*	*	*	*	*	0	*	*	*	*	*
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
急性期	16	*	82	*	*	*	*	*	0	*	*	*	*	98
	16.3%	—	83.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
回復期	26	12	111	*	26	*	*	*	0	*	*	*	*	175
	14.9%	6.9%	63.4%	—	14.9%	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
慢性期	119	21	104	*	30	15	*	0	0	0	0	0	*	289
	41.2%	7.3%	36.0%	—	10.4%	5.2%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%

(地域医療構想における機能別必要病床数)

◆愛知県医療構想において、名古屋・尾張中部構想区域の平成 27 年度の報告病床数と平成 37 年度の必要病床数を比較すると、平成 37 年度必要数は平成 27 年度病床数より全体で 217 床減少し、病床別では、回復期が 5,520 床 (+277.5%) 増加する見込みである。一方で、高度急性期は 3,495 床 (-54.8%)、急性期は 856 床 (-9.6%)、慢性期は 885 床 (-19.8%) 減少する見込みとなっている。

◆名古屋医療圏の主要医療機関の病床機能報告状況

名古屋医療圏の主要医療機関の病床機能報告状況は、将来過剰となる高度急性期急性期機能の病床数増加を報告している病院が複数見られる。

◆名古屋医療圏の将来推計患者数の予測(入院患者)

名古屋医療圏の将来推計患者数の予測(入院患者)は、妊娠・周産期系疾患を除き、いずれの疾患も増加が見込まれる。循環器系、精神系、新生物は、特に入院患者数が多くなると見込まれる。

②構想区域の課題

◆大学病院が 2 病院あり、救命救急センターも 6 か所整備されている等、高度な医療を広域に支える役割があり、今後も高度・専門医療を確保し、緊急性の高い救急医療について、他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要がある。

◆人口が多く、面積も広いため、構想区域内の医療提供体制の地域バランスに留意する必要がある。

◆回復期機能の病床を確保する必要がある。

③自施設の現状

◆基本理念

私たちは、ご利用してくださる方、ひとり、ひとりの笑顔のために、最善をつくすことが誇りです。

◆基本方針

1. 主役は患者さん

- ・患者さんの権利とプライバシーを尊重した医療を行います。
- ・患者さんに十分な説明をし、納得される医療を行います。
- ・患者さんに心のこもった対応をし、癒し・安らぎのある医療を行います。

2. 安心して受けられる医療

- ・新しい知識・技術の習得に励み、高度で良質な医療に努めます。
- ・安全で信頼される医療を提供するため、院内感染・医療事故防止に努めます。

3. 地域社会への貢献

- ・医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます。
- ・地域の中核病院として、他の医療・介護・福祉機関との連携を積極的に進めて行きます。

◆診療実績（H30.1～H30.12）

- ・入院基本料：急性期一般入院基本料 4
地域包括ケア病棟入院料 2
回復期リハビリテーション病棟入院料 6
- ・平均在院日数：急性期一般：18.2 日、地域包括ケア：19.1 日、回復期：52.3 日
- ・病床稼働率：急性期一般：54.0%、地域包括ケア：53.0%、回復期：81.7%
- ・入院延患者数：27,140 人（月平均 2,262 人）
- ・外来延患者数：70,032 人（月平均 5,836 人）
- ・紹介患者数：3,016 人（月平均 251 人）

◆施設の職員数

- ・医師 75 名（常勤 13 名、非常勤 62 名）
- ・看護職員 98 名（看護師 89 名、准看護師 9 名）
- ・看護補助 22 名
- ・薬剤師 7 名
- ・臨床検査技師 15 名
- ・放射線技師 8 名
- ・P T. O T. S T 18 名
- ・その他コメディカル 6 名（ME 1 名、視能訓練士 1 名、
管理栄養士 3 名、社会福祉士 1 名）
- ・事務職員 20 名

◆自施設の特徴（4機能）

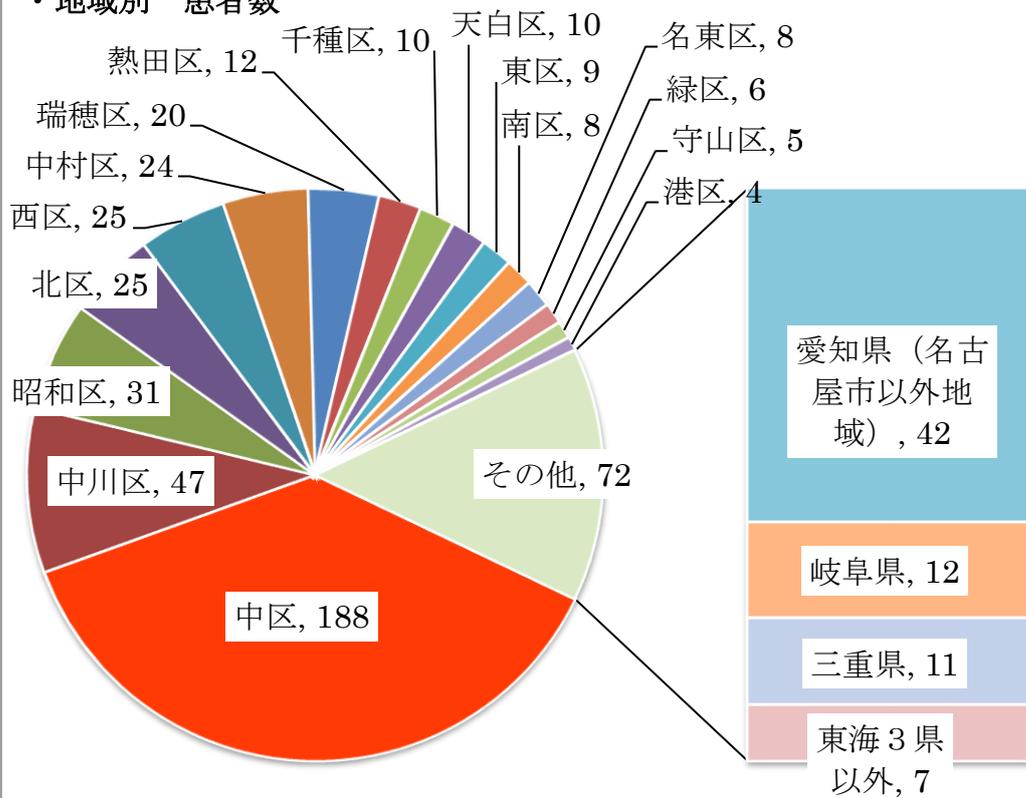
・急性期機能

急性期機能として、急性期一般入院基本料届出病床 55 床を有している。

・回復期機能

回復期機能として、回復期リハビリテーション病棟入院料届出病床 44 床に加えて、地域包括ケア病棟入院料届出病床 51 床を有している。

・地域別 患者数



◆自施設の担う政策医療

- ・脳卒中 : 脳神経内科医師、脳神経外科医師（非常勤）を配置、外来および入院診療を行っている。
回復期機能を強化しているため、回復期リハビリ病棟等にて、脳血管疾患等リハビリを実施している。
- ・心血管疾患 : 循環器内科医師を配置、外来および入院診療を行っている。
急性期病棟において、心大血管疾患リハビリを実施している。
- ・がん : 外科医師により、消化器癌、乳癌を主として、検診から手術、術後のフォローまで行なっている。
- ・糖尿病 : 糖尿病医師、糖尿病療養指導士、管理栄養士がチームとなり、食餌療法、運動療法を体験できる教育入院等を行っている。
- ・救急医療 : 2次救急医療体制における病院群輪番制参加病院として位置付けられており、内科、外科、耳鼻咽喉科の2次救急を担当している。

◆他機関との連携

- ・名古屋市医師会病診連携システム協力病院として、名古屋市医師会会員の診療所等と連携している。登録医数：243名（平成31年1月現在）
- ・名古屋市立大学病院との間で、脳卒中地域連携パスを活用、それに関連し、同大学の城南脳卒中協議会幹事病院として、協議会に参加している。
- ・名古屋医療センターとの間で、脳卒中および大腿骨頸部骨折の地域連携パスを活用している。

④自施設の課題

- ・名古屋市中区地域包括ケアシステムに属する当院においては、当院が担うべき、地域包括ケアシステムに対応したサブアキュート機能の部分的な充実、高度急性期病院の後方支援病院としての役割拡充、回復期機能の安定的提供が課題と考える。

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

- ・2次救急輪番病院として、地域のかかりつけ医からのサブアキュート患者受け入れ機能は残しつつ、脳卒中、心疾患を中心とした高度急性期病院の後方支援を主として担っていく。また、回復期機能病棟（地域包括ケア、回復期リハビリ）を活用し、回復期医療を提供、同医療をより深めていく。
- ・地域社会の高齢化、単身世帯の増加を考慮し、訪問診療を含む在宅医療も担っていく。

② 今後持つべき病床機能

- ・名古屋市中区およびその周辺区のかかりつけ医、医療・介護施設等からのサブアキュート患者受入れ要請に応えるため、その機能を維持する必要がある。
しかしながら、同地域の医療需要を鑑みた、高度急性期病院の後方支援病院としての役割強化、回復期機能の深化を検討することとする。

③ その他見直すべき点

- ・急性期機能のみの時期には病床利用率が低下傾向であったが、回復期機能導入により、病床利用率も徐々に上昇傾向にあることから、今後は、当院の所在する名古屋市中区およびその周辺区の医療需要を考慮しながら、地域医療構想を踏まえた、急性期と回復期、慢性期、更には在宅医療支援機能を加えた病床比率の最適化を検討することが必要。

【3. 具体的な計画】

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成 30 年度病床機能報告)		将来 (2025 年度)
高度急性期	0 床	→	0 床
急性期	55 床		45 床
回復期	95 床		105 床
慢性期	0 床		0 床
(合計)	150 床		150 床

< (病棟機能の変更がある場合) 具体的な方針及び整備計画 >

- ・今後、高度急性期病院の後方支援病院としての役割を強化していく中で不足と思われる、回復期機能を持つ病床を増やすため、急性期病棟を 10 床減床し、回復期機能の病棟を 10 床増床する。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2018 年度			
2019 ～ 2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・救急告示病院の申請 ・訪問診療開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急告示病院 ・継続的訪問診療 	
2021 ～ 2023 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床の増床取組開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・増床後病床で稼働開始 	

② 診療科の見直しについて

現段階で見直しの予定はありません。

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率 : 75.0%
- ・ 紹介率 : 45.0%
- ・ 逆紹介率 : 40.0%

経営に関する項目

- ・ 人件比率 : 60%未満
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合 : 0.35%

その他

【4. その他】

（自由記載）